

3 J A 蒲郡市 3 Sun研究会

ねぎの水耕（養液）栽培 = Q & A =

栽培農家Tさんへのインタビューより

Q：栽培全般で気を付けていること

A：とにかくよく見ること。常に見ていて、いつもと違う変化を見取る。例えば、害虫や病気にかかっているか、栄養が足りているのか、暑さ寒さで弱っていないかなど。

Q：土壌栽培との違い

・施設費用

温室設備，水耕施設を用意するために土耕の2倍の施設費用がかかる。温室設置で一坪2万円，水耕施設で一坪2万円かかる。

・光熱費用

温室みかんよりも温室内の気温は低くてよいため，それほど光熱費はかからない。
(みかんは25℃以下にしてはいけないが，ねぎは15℃以下にしてはいけない)

・計 画 性

天候に左右されることが少なく，計画的に作業・生産することができる。

・労 力 面

ずいぶん楽になる。比べられないほど。年間を通して計画的にできる。

・品 質 面

土壌栽培よりも虫が付きにくく，病気にもなりにくい。消費者に安定した品質の商品を供給できる。

・そ の 他

養液は，水耕用肥料（窒素・リン酸・カリウム：10・8・25）を溶かす。

土耕は年間3作しかできないが，水耕では年間7作できる。収益は2倍以上ということ（季節によって1作にかかる日数は変わる）。

Q：ネギの水耕栽培を始めた理由

A：年間7作できる。収益は倍以上が魅力であったことと，始める前に他の地域の施設を見学に行ったときに「これからの農業はこれだ！」と感激・実感したから。

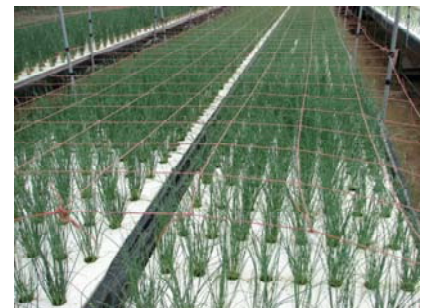
Q：これからの展望や現状における問題点

A：現在J A 蒲郡での生産農家が少なく，一定量を随時安定して出荷できないため，契約販売先を増やすことができない。

他の農作物と同じで相場が安定しないので，収入が安定しない。



< 植えから5日後 >



< 植えから25日後 >

← 【販売商品】